茅ヶ崎市議会議員　無所属・一期目

木山こうじ

活動報告　2019年10月～12月号

子どもにツケをまわさない!

茅ヶ崎市民の皆様こんにちは、木山こうじです。茅ヶ崎市民の皆様に2019年10月から12月までの活動報告をさせていただきます。

22日間に及ぶ第４回茅ヶ崎市議会定例会は、台風19号による被害に対する復旧のための補正予算や、市内に点在する公共施設の老朽化対策のための補正予算が主となりました。市内には数十年前に建てられた建築物が数多く存在しており、今後も老朽化対策に予算を充てざるを得ない状態が続くと予想されます。しかしながらここ数年の大型事業により、市債残高が急激に増加している状態であり、今現在選挙権を有さない若者世代への負担になる恐れがあります。子どもにツケをまわさないためにも、早急な財政健全化が急がれます。

私個人の議員活動といたしましても、ここ数ヶ月「財政」について勉強させていただいております。デリバリー方式で進めていく方針となった「中学校給食」や、茅ヶ崎ブランド創出事業「道の駅」もまだ本格的に始動しておらず、人口減少による税収の低下、高齢化による扶助費の増加が懸念される中で、本市はどのようなビジョンで、どのように財源を確保し、どのように舵取りをしながらまちづくりをしていくのか?

2020年は茅ヶ崎の未来の計画書とも言える【総合計画】の策定の時期に差し掛かるため、まさに今年は茅ヶ崎の未来が決まる重要な年となるでしょう。

「子どもにツケをまわさない」政治の実現のため、議論を重ねながら行政を厳しくチェックしていきたいと思います。

【討論（※）】を行いました！

※議題となっている案件に対し賛成か反対かの自己の意見を表明すること

議案第97号、令和元年度茅ヶ崎市一般会計補正予算第７号、土木費「道路小規模修繕委託事業費」について。「賛成」

その年度によって件数や復旧すべき道路構築物の単価が異なるため差異はあるものの、ここ数年で当事業の決算額は減少傾向にあります。しかしながら緊急性が高い道路構築物の損傷復旧は安全で安心な市民生活を確保する上で極めて重要であり、早急に対処しなければならないものです。本市の財政事情に関わらず、今後も健全な道路インフラを維持するためにも優先して取り組んでいただくことを望みます。

議案第111号、茅ヶ崎市勤労市民会館「指定管理者の指定について」。「賛成」

今回の選定団体は指定管理者としての実績もあり、選定に至ったことは妥当と認識しております。

当施設の５階部分に児童クラブが新設されることに関して、見守りカメラ等の設置による防犯対策は評価するところであります。

児童クラブは民設民営ということでありますが、今後防災・防犯対策については指定管理者と協議を重ね万全を期すとともに、行政としてもモニタリングや月次報告などによる分析、情報を共有し、特に安全面において適宜対応されることを望みます。

木山こうじプロフィール

- 1982年　神奈川県横浜市生まれ
- 横浜国立大学教育学部附属横浜小学校 卒業
- 神奈川県 桐蔭学園 中学校 卒業
- 神奈川県 桐蔭学園 高等学校 卒業
- 私立 関東学院大学 法学部 卒業
- 高校在学時、テコンドーと出会い真剣に練習を開始。天性の運動神経の助けもあり、2001年WTF全日本学生テコンドー選手権大会フェザー級チャンピオンとなる。
- 同年、関東学院大学学長賞を受賞。
- その後、北京オリンピック（2008年開催）に向けた練習を本格的に開始。遠征や合宿で国内のみならず海外にも度々渡り、経験を積む。
- 2005年、北京オリンピック強化指定選手選考会フェザー級チャンピオンとなる。その功績が認められ、同年北京オリンピック強化指定選手に選出。
- その後、数々の試合を経て引退。
- 引退後は、現役時代にお世話になった方の企業で社会生活を学ぶ。

【討論（※）】を行いました！

※議題となっている案件に対し賛成か反対かの自己の意見を表明すること

議案第96号、令和元年度茅ヶ崎市一般会計補正予算第6号、「衛生費・地域医療推進事業費」について。「反対」

災害医療体制の機能強化を図る他、著しく老朽化が進む現保健所における業務の移設を目的としたものであり、近年各地で猛威を振るう自然災害への対策の必要性や、現保健所での労働環境を鑑みると本議案の意図するところは十分に理解することができます。
しかしながら地域医療センター等複合施設の講堂部分購入費の1億9,485万8千円のうち、75%にあたる1億4,610万円を20年償還の地方債で充当することに関して、次世代への負担となり得る長期償還期間を要する起債は、本市の逼迫した財政状況を鑑みても、より慎重に審議する必要があると考えます。
また購入費の内訳が不明瞭な点や、令和3年度末で県の支援が終了する保健所の運用についても、次期総合計画の策定前で今後の見通しが立っていない中で、今回の購入に踏み切るには時期尚早と考えます。
災害時の拠点としての整備は、現行の「災害協定」で十分に連携はされています。
賃貸借契約などによる暫定的な講堂の運用等を踏まえながら、今後の見通しを明確にした上で検討することが望ましいと考えます。

Check！ 争点

「何故今なのか？」「何故購入にこだわるのか？」

→行政側の言い分

①保健所の環境が劣悪であるため、保健所業務を当施設に移管する。
②災害拠点として活用するため。
③賃貸借契約では起債ができないため、購入する。

→木山の見解

①購入しても保健所の全ては移せない。子どもの検診などは法律上今の保健所でしかできない。しっかりと保健所の方向性が定まった上で動くべき。
②災害拠点としての運用は、現在三医師会と「災害協定」を結んでいるため問題ない。購入しても内容は変わらない。
③約2億円の事業費のうち1億4610万もの額を長期の20年償還で起債することは、将来世代への負担になると共に、保健所の方向性が不透明なため、時期総合計画の内容によっては二重投資になる恐れがある。

一般質問をしました！

1、「LINE公式アカウントを活用した情報発信について」

令和元年第3回茅ヶ崎市議会定例会で質問した「LINE公式アカウント」導入についてその進捗状況を問う。また災害時に市民が自分の命を守る行動に移るために必要な【正確な情報】を得るためにLINEは非常に有効であるため、災害に特化した運用で試験的に導入してはどうか？

行政側答弁

先進的な取り組みをしている他自治体を対象に、調査やヒアリングを行った。また本市で、どのような取り組みが可能か具体的に検討するため、庁内全課を対象に調査を実施した。調査結果を取りまとめ、実際に導入できるかどうかの検討をしている。
災害時の運用については、市民が自分の命を守る行動に移すための判断材料として、正確な情報を迅速に提供することが重要であり、LINEは多くの市民に災害情報を提供できる有効なツールの一つと考える。防災分野に限った情報提供であれば、無償の範囲内での提供も可能であるため、台風第19号における情報発信のあり方を十分に検証し、災害時の情報発信をさらに充実させる手段として、LINEの活用を積極的に検討していく。

2、「財政運営について」

平成30年度決算における財政指標の急激な悪化を踏まえると、義務的経費をはじめとした経常的経費の縮減が必要と考える。また今後どのように財源を確保していくのか?そして今現在、茅ヶ崎市の財政状況は市民へわかりやすく説明されているのか、市の見解を問う。

行政側答弁

経常経費の増加により財政の硬直化が進んでいること、将来負担すべき債務が増加していることから義務的経費をはじめとした経常的経費の縮減は本市の喫緊の課題であるため、
事業の見直しや休廃止等の取り組みを今後進めていく必要がある。
自主財源確保策については市税や保険料の徴収率を上げ、広告収入の拡充、受益者負担の適正化を行っていく。未利用・低稼働資産の活用の観点から行政財産の貸付や不要な市有財産の売却も進めていく。
市民へのわかりやすい説明については、本市において厳しい財政状況が続くことが予想される中財政状況の公表は極めて重要であると考えているので、地方公会計制度による財務書類等の更なる活用の検討を行うなどし努めていく。

木山こうじ 検索
インスタグラム・FB・ツイッターで日々の活動を発信しています。お気軽にフォローお願いします！
https://www.instagram.com/kiyamakoji/
https://www.facebook.com/koji.kiyama.7
https://twitter.com/kiyamakoji

木山こうじと茅ヶ崎の未来を作る会
☎080-3004-5023
〒253-0006 茅ヶ崎市堤77-1 マリヴァノン1-203